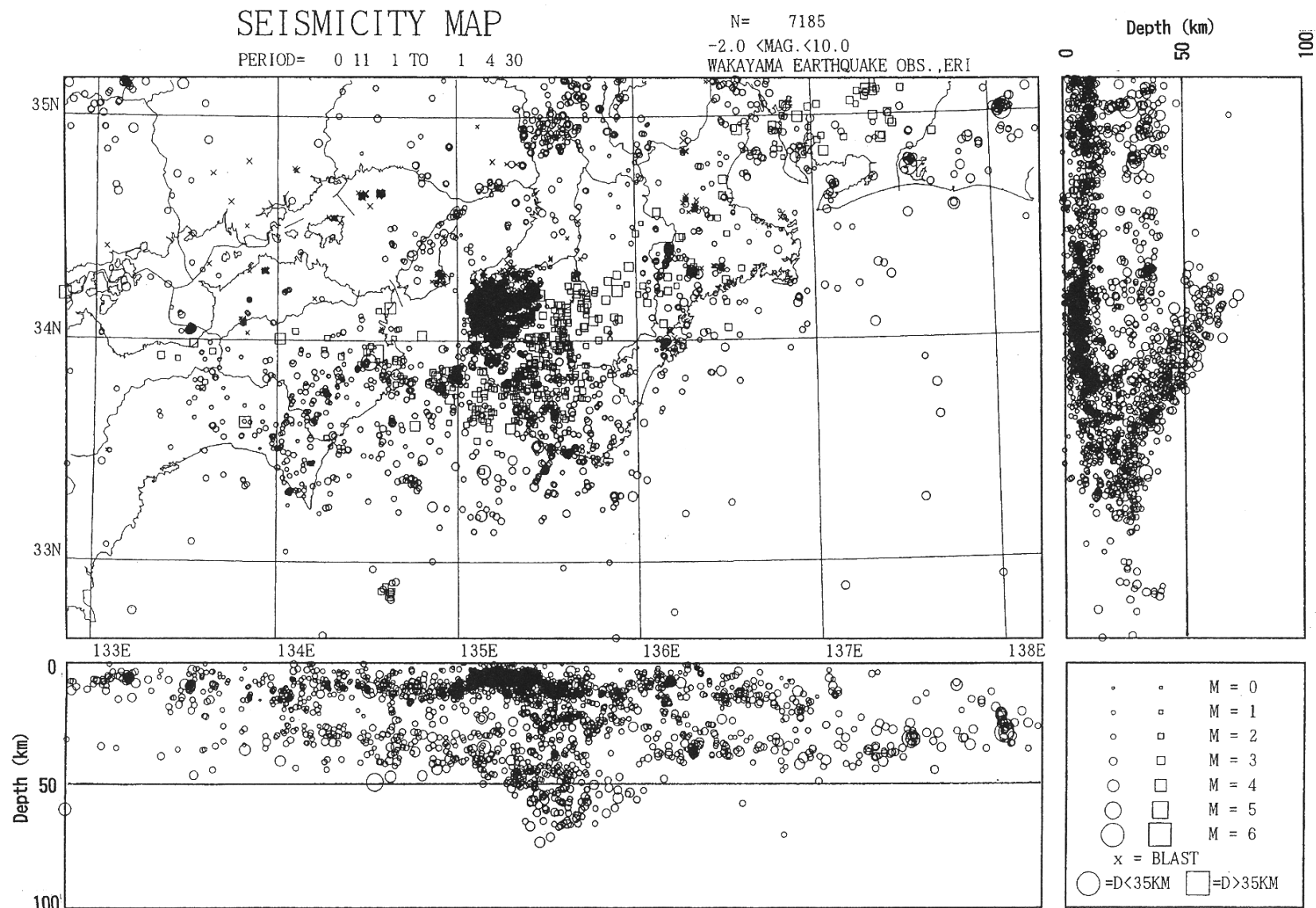


7-2 紀伊半島及びその周辺域の地震活動(2000年11月～2001年4月) Seismic activities in and around the Kii peninsula.(Nov., 2000-April, 2001)

東京大学地震研究所
地震地殻変動観測センター
和歌山地震観測所
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

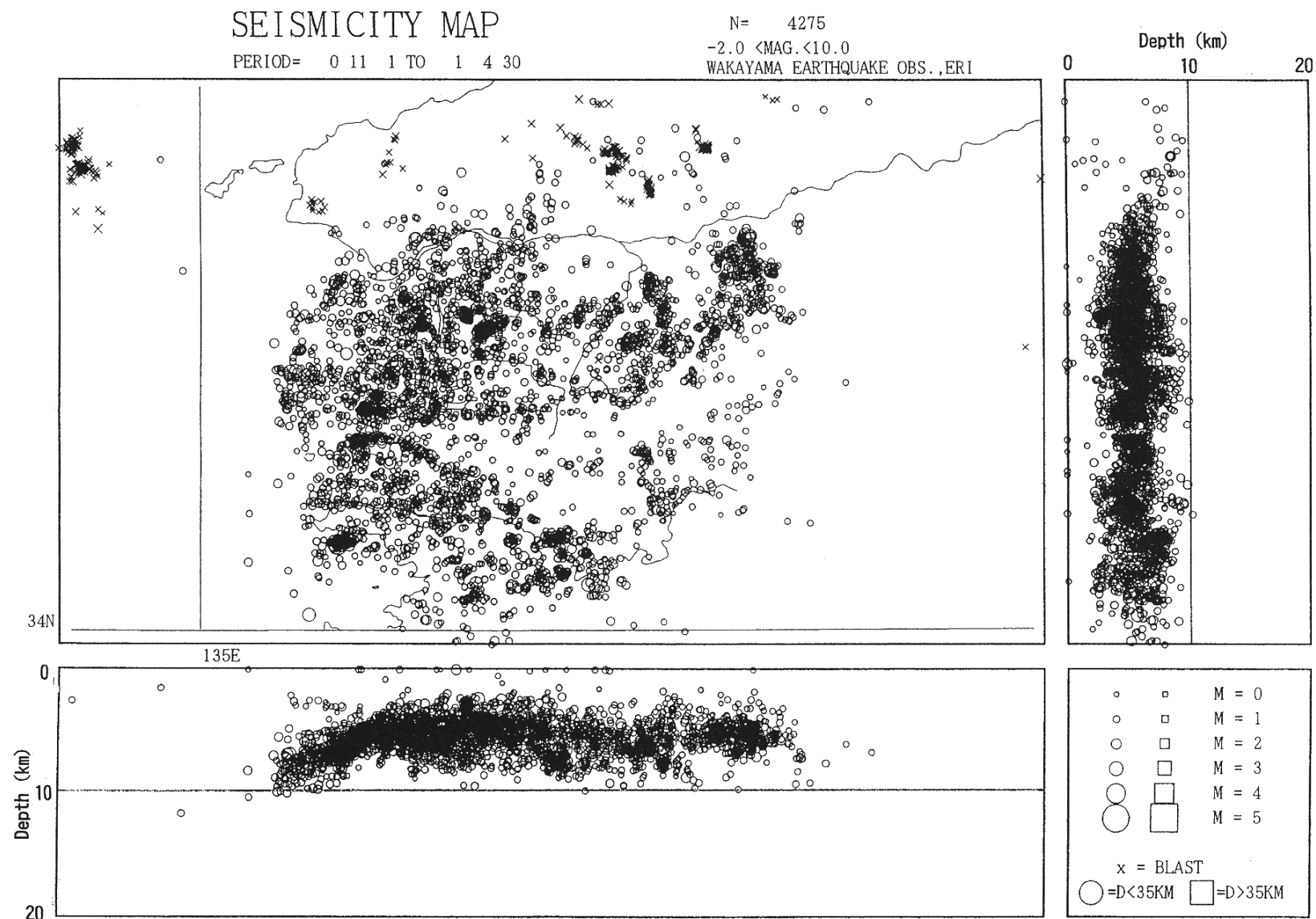
第1図から第3図はそれぞれ紀伊半島およびその周辺域の震源分布図、和歌山県北西部の震源分布と和歌山市周辺域の積算地震回数 ($M > 2.0$) を示す。第4図から第5図はそれぞれ三重県飯高町の群発地震の震源分布図と時系列分布図である。第6図(a)～第6図(c)はこの期間に起こった主な地震のメカニズム解である。

1. この期間における顕著な地震は2001年1月25日19時45分の徳島県東部、深さ48Km, $M = 5.1(M_{wso})$ の地震である。南北方向のP軸を持つ。同年2月8日14時11分同上地震の直上で、深さ10Km, $M = 4.9(M_{wso})$ の地震が発生した。このメカニズムは東西方向のP軸を持つ。2001年3月23日07時44分と4月15日17時54分に $M = 4.1(M_{wso})$, 深さ13Km, 白浜の南東に, $M = 4.1$, 深さ11Kmの地震が富田川付近で発生している。いずれも東西方向のP軸を持つ。(注: M_{wso} は和歌山地震観測所が決めたマグニチュード)
2. 三重県飯南郡飯高町森付近の群発地震の推移は活動が北側に移動しつつあると同時に震源は浅くなり, 活動は減衰しているように見える。2001年2月1日13時18分の地震は東西方向にP軸を持つ逆断層型である。
3. 和歌山県北西部の地震数の推移は $M > 2.0$ 以上の地震について見れば1998年中旬以降, それまでの日平均地震数(17年間)に対して増加に転じている。



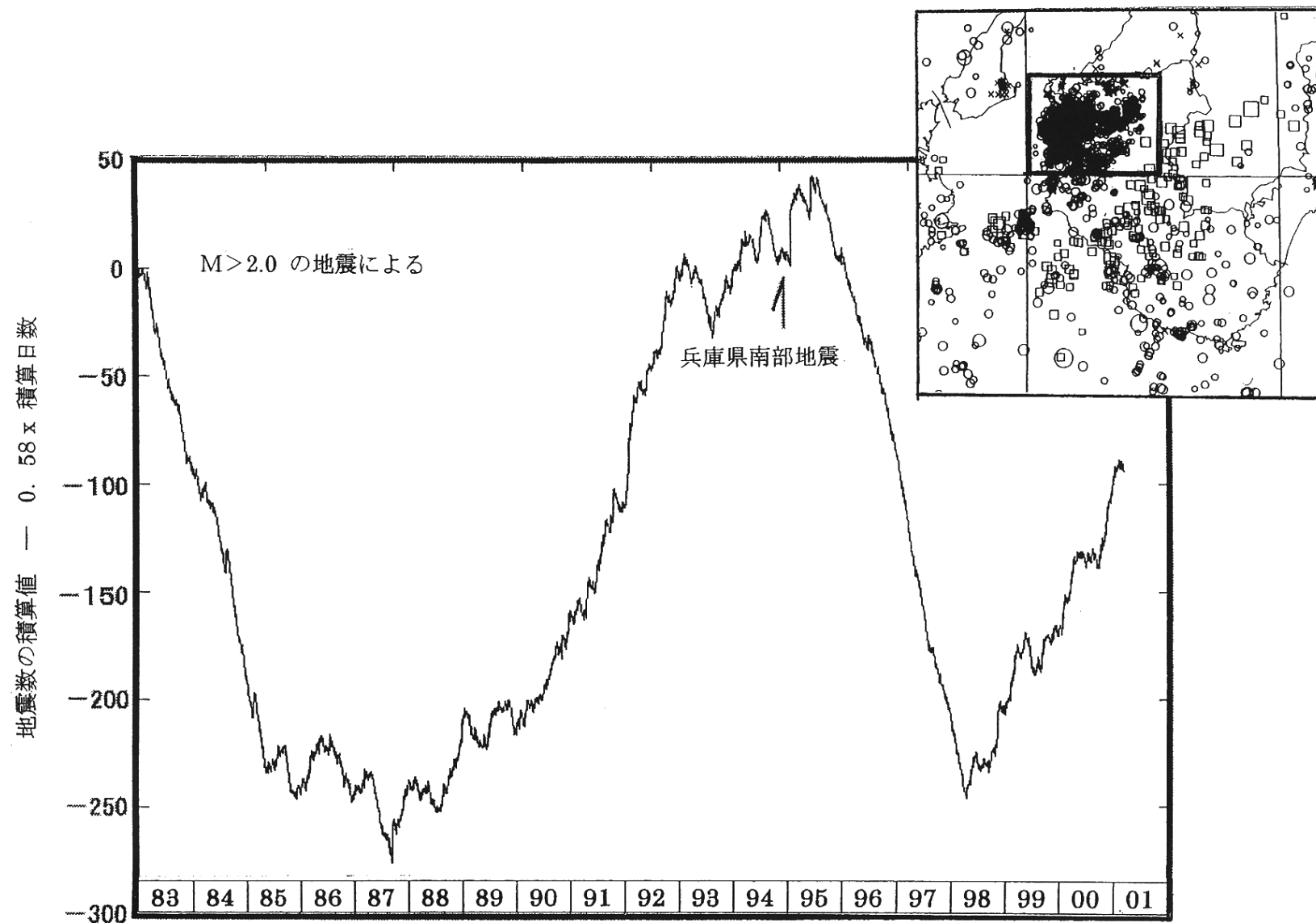
第1図 紀伊半島およびその周辺域の震源分布図(2000年11月～2001年4月)

Fig.1 Seismic activities in and around the Kii peninsula. (Nov.,2000 - April,2001)



第2図 和歌山県北西部の震源分布図(2000年11月～2001年4月)

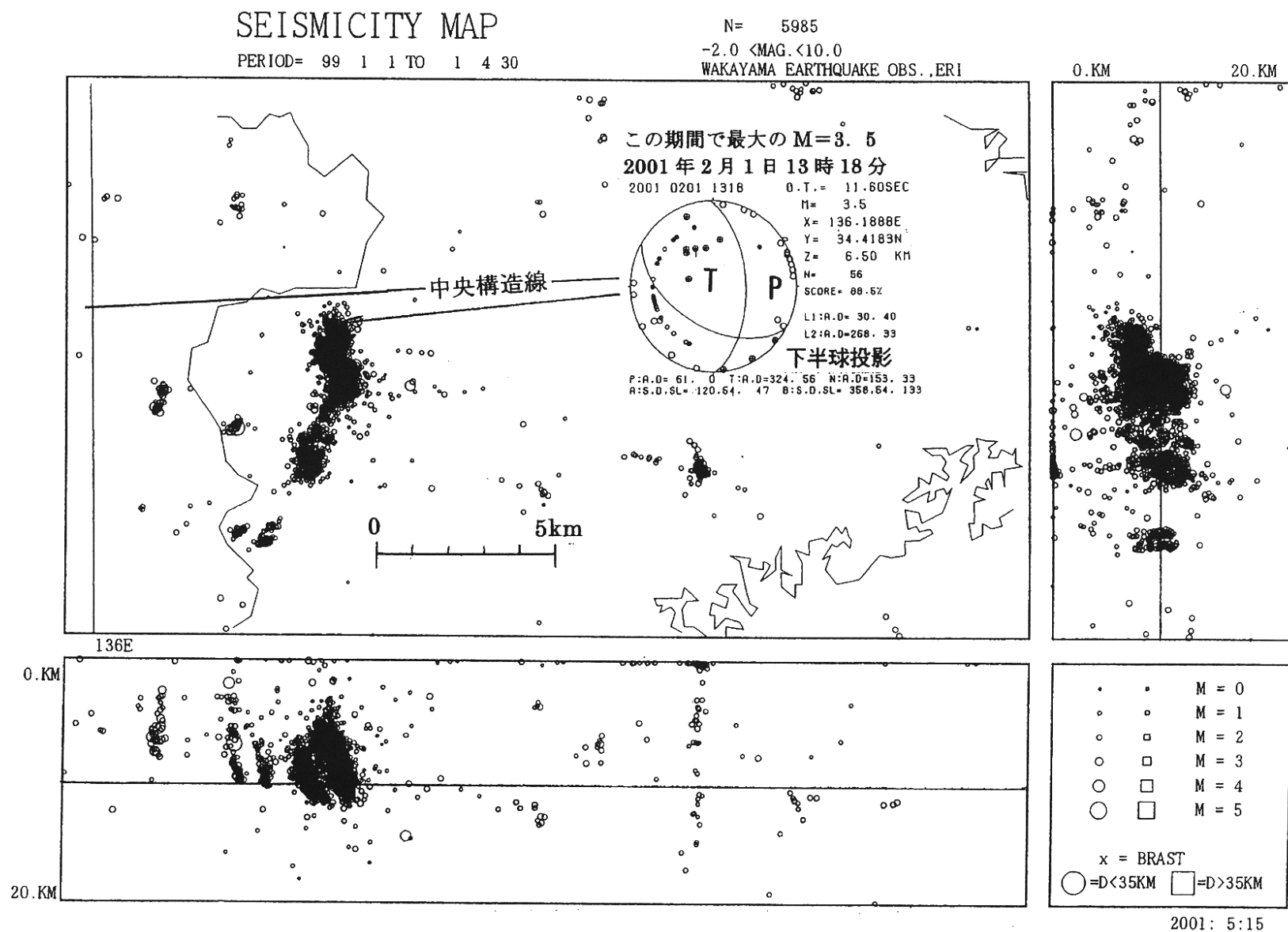
Fig.2 Seismic activities in the North-West of Wakayama prefecture.



第3図 和歌山県北西部の積算地震数（1983年1月～2001年4月）

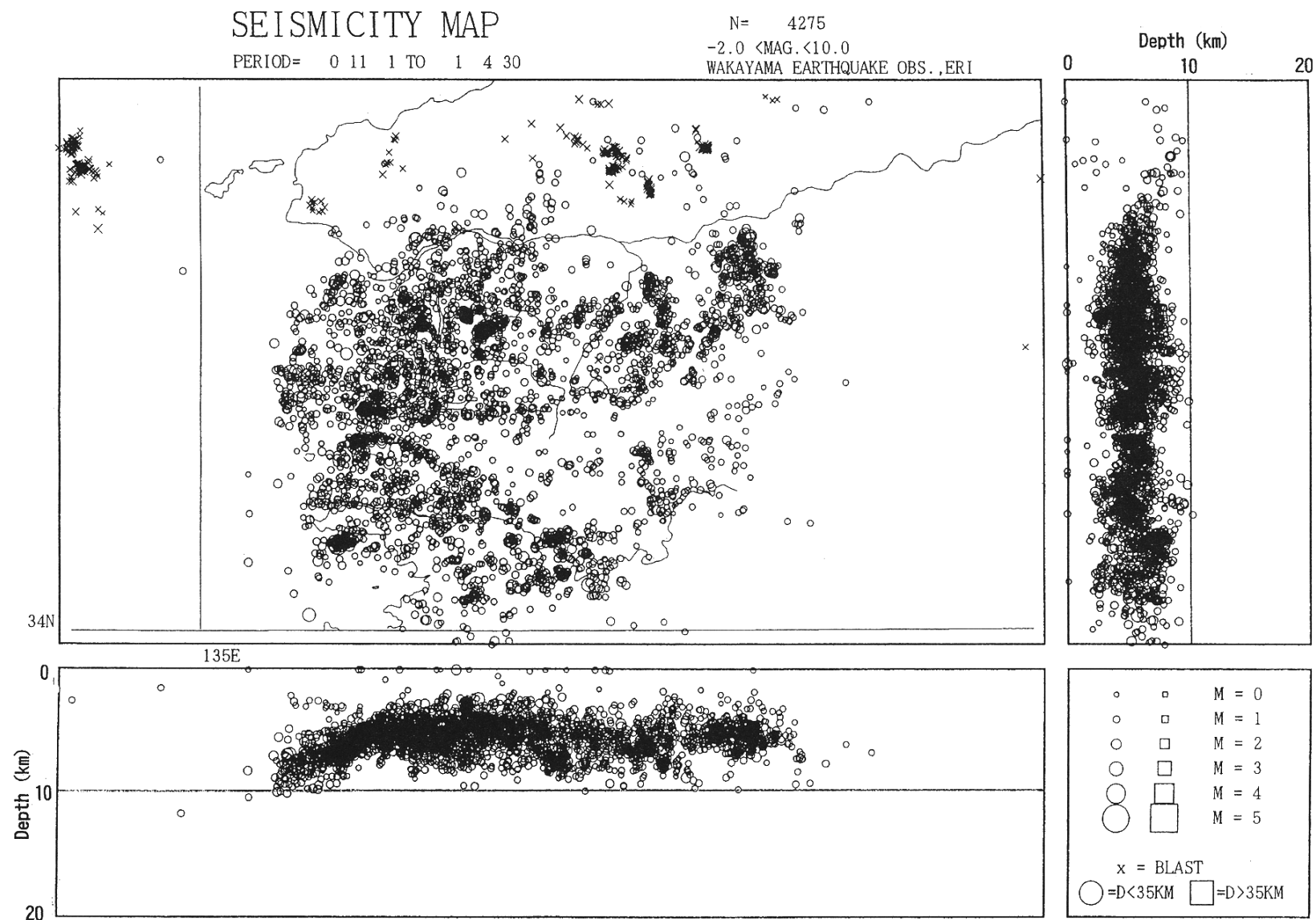
縦軸は17年間の日平均地震数で置き換えている。

Fig.3 Cumulative number of earthquakes in the North-West of Wakayama prefecture.



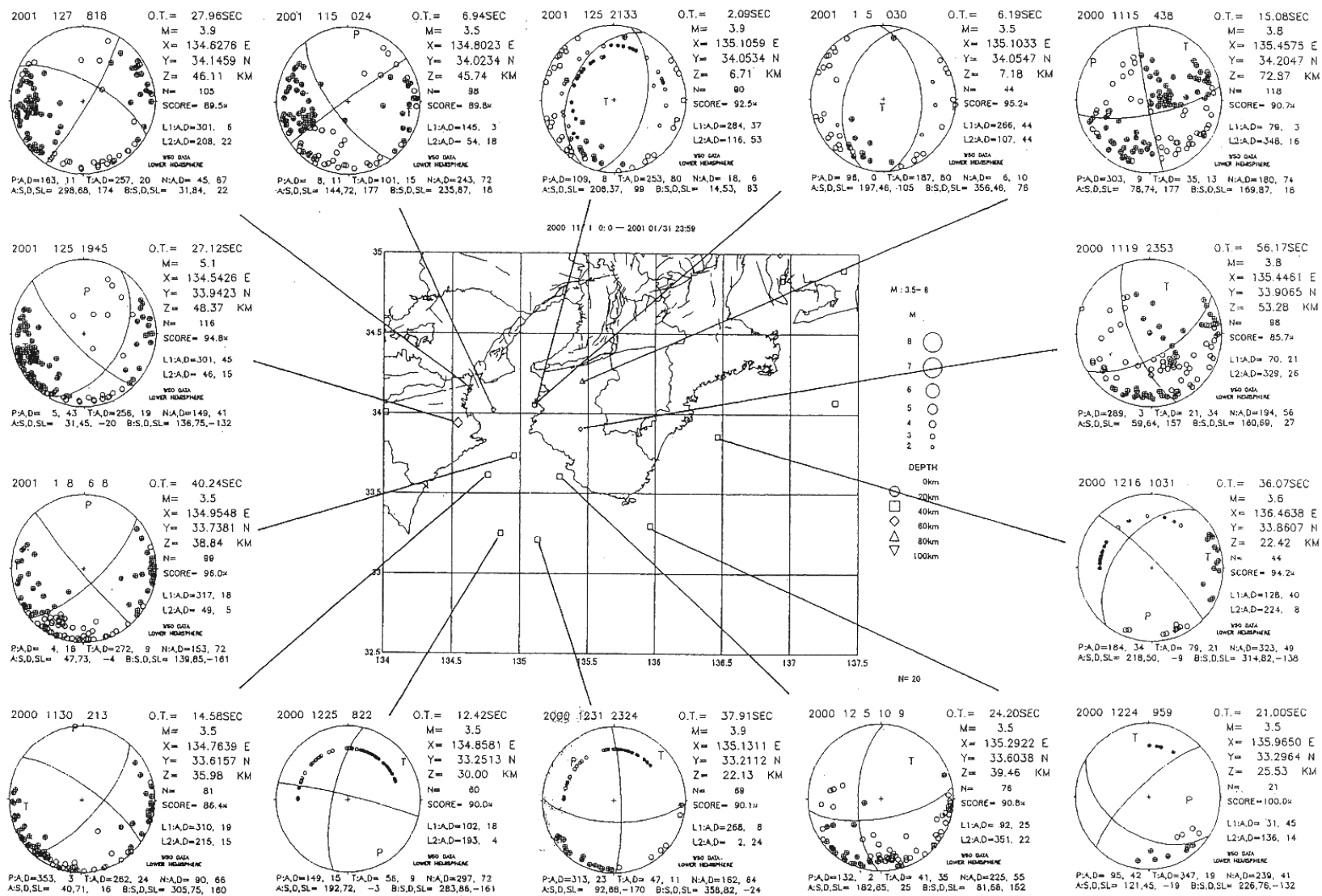
第4図 三重県飯南郡飯高町森付近の群発地震の震源分布図（1999年1月～2001年4月）

Fig.4 Seismic activities in central Mie prefecture.(Jan.,1999 - April,2001)



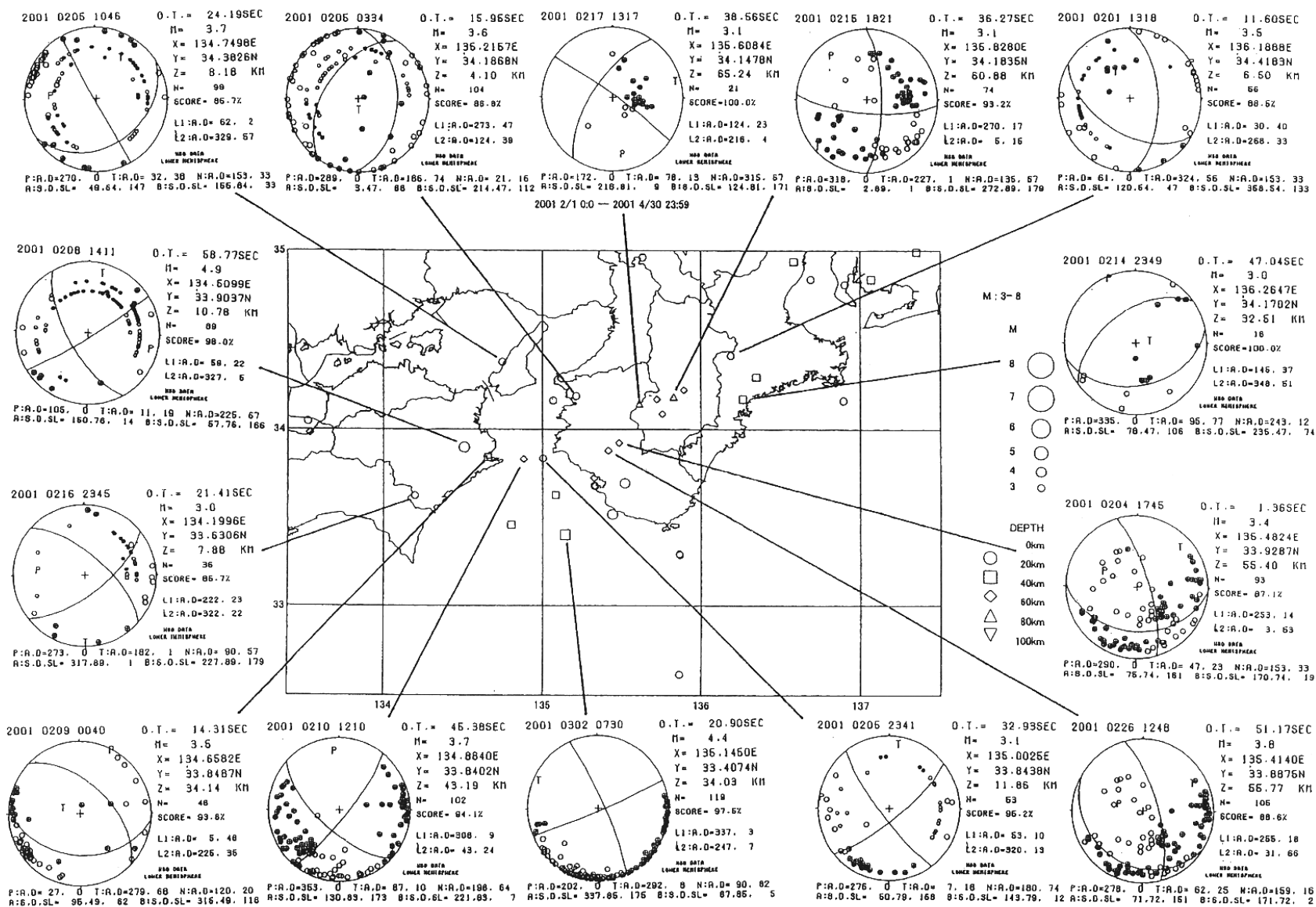
第5図 三重県飯南郡飯高町森付近の群発地震の時空間分布図。(1999年1月～2001年4月)

Fig.5 Time-space distribution of epicenters in central Mie prefecture.(Jan.,1999 - April,2001)



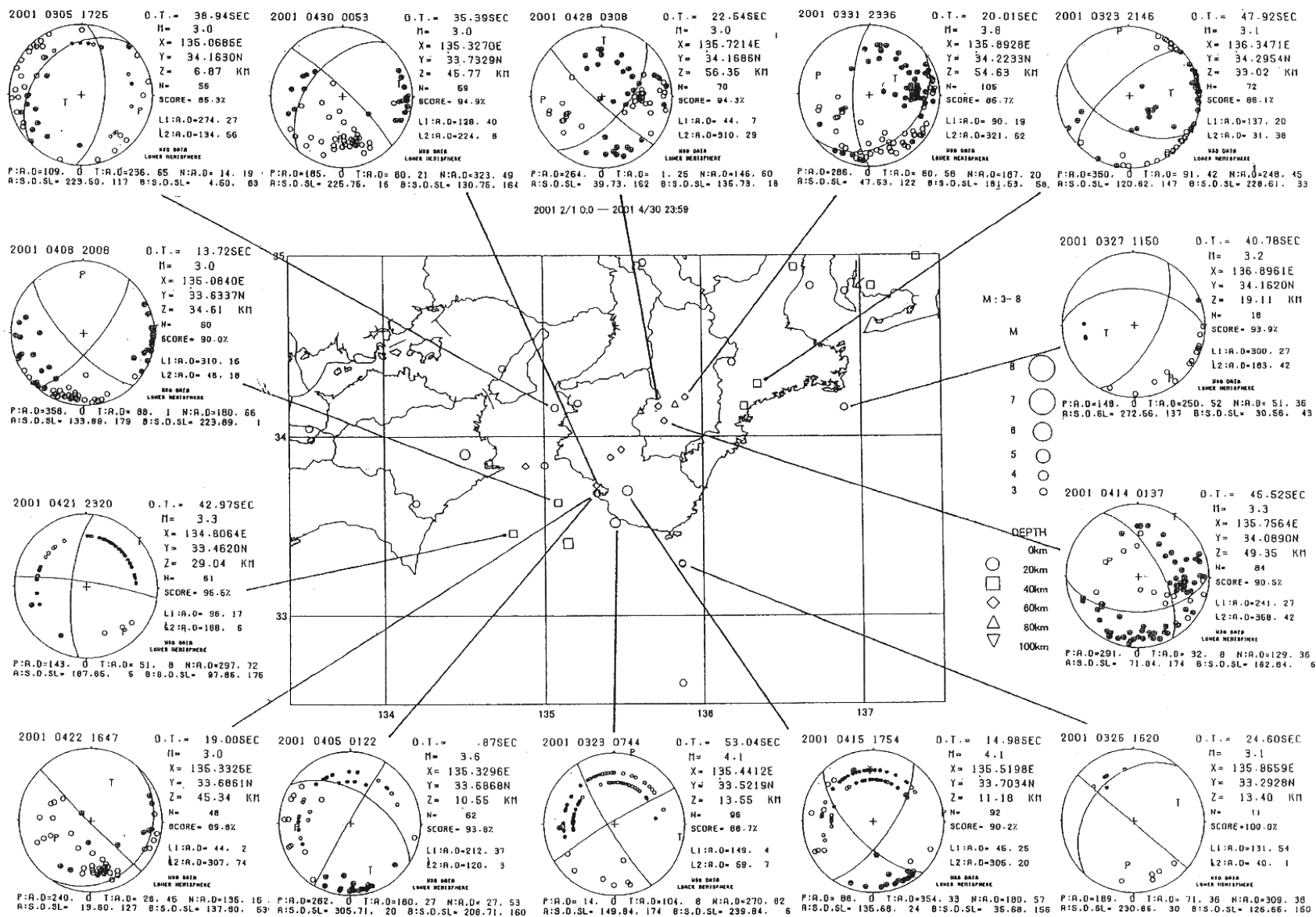
第 6 図(a) 主な地震のメカニズム解

Fig.6(a) Focal mechanism solutions of major earthquakes (lower hemisphere projection,2000/11 - 2001/4)



第 6 図(b) 主な地震のメカニズム解

Fig.6(b) Focal mechanism solutions of major earthquakes (lower hemisphere projection, 2000/11 - 2001/4)



第6図(c) 主な地震のメカニズム解

Fig.6(c) Focal mechanism solutions of major earthquakes (lower hemisphere projection,2000/11 - 2001/4)